



北ミサイル列島通過

北海道東太平洋に落下

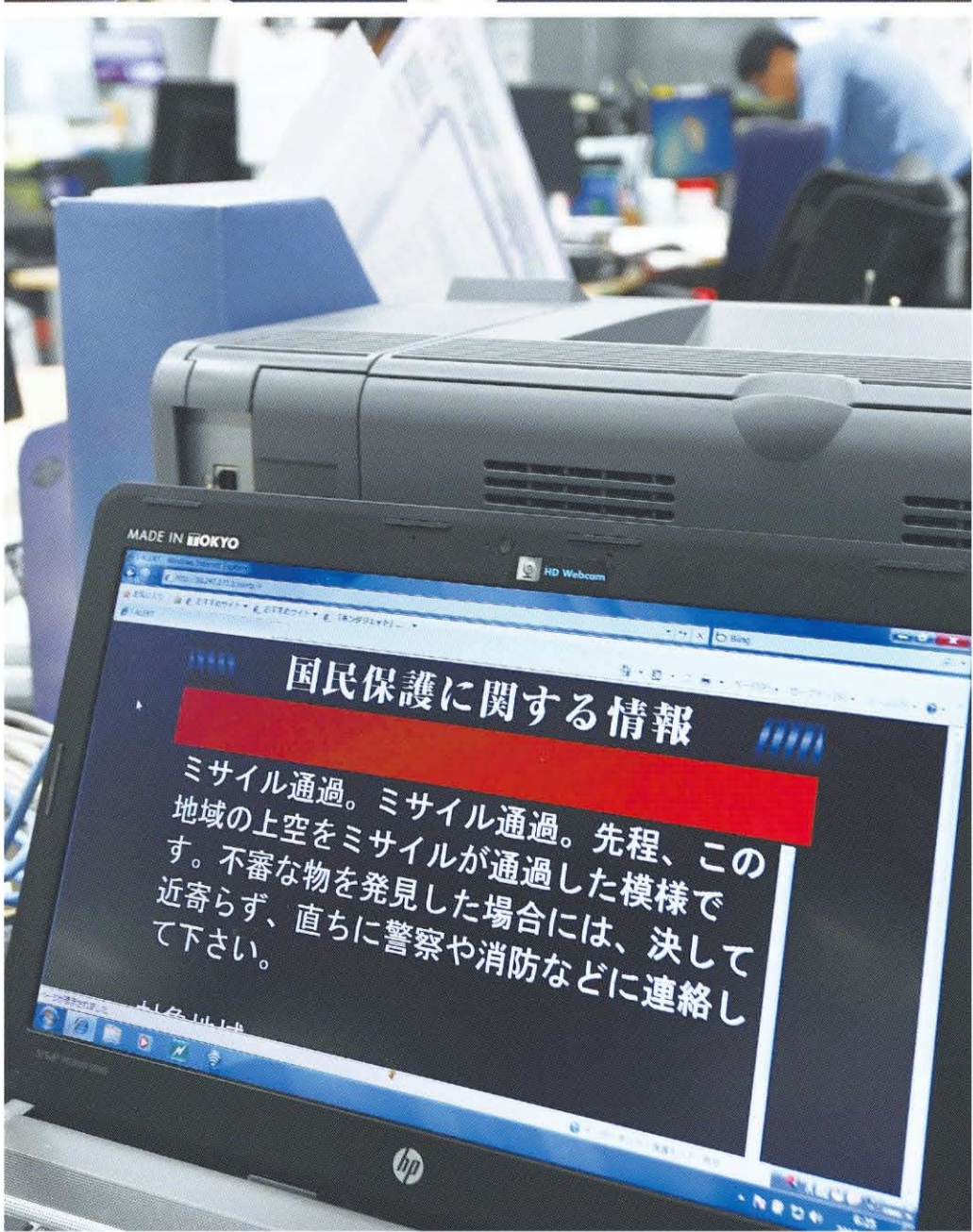
「これまでになく深刻脅威」

政府は29日午前、北朝鮮が日本時間の同日午前5時58分ごろ、北東方向に弾道ミサイルを
ミサイルを
発射し、6
時7分ごろ
に北海道の
上空を通
過、6時12
分に襟裳岬
の東方約1
80キロの
太平洋上に
3つに分離

して落下したと発表した。韓国軍合同参謀本部によると、発射された弾道ミサイルは1発で、飛行距離は約2700キロ、最大高度は約550キロ。首都平壤の順安区域付近から発射された。
政府によると、発射を受けて全国瞬時警報システム(Ｊアラート)が12道県に発令された。落下物などによる被害は確認されていない。自衛隊法に基づく破壊措置は実施しなかった。
米韓両軍は21日から合同軍事演習「乙支フリーダムガードリアン」を行っており、演習に対抗した形だ。北朝鮮は26日

にも短距離弾道ミサイルとみられる3発を発射したばかり。
政府は国家安全保障会議(NSC)を招集。記者会見した菅義偉官房長官は「アジア太平洋地域の平和を脅かすものだ」と北朝鮮を強く非難した。安倍晋三首相は首相官邸で記者団に、「これまでには深刻かつ重大な脅威で、地域の平和と安全を著しく損なうものだ。国民の安全、安心の確保に万全を期す」と述べた。
一方、米国防総省のマニング報道官は28日、「北朝鮮が発射したミサイルが日本上空を通過したことを確認した」と発表。北米航空宇宙防衛司令部(NORAD)は、北米に脅威を及ぼすものではなかったとした。

12道県にＪアラート



①29日午前、首相官邸で、北朝鮮の弾道ミサイル発射について報道陣に対応する安倍晋三首相 (宮川浩和撮影)
②北朝鮮がミサイルを発射したことを伝えるＪアラートの画面
—29日午前6時24分、東京都港区